



DI-NOC™

Architectural Finishes

Case Study | 2024

ポストコロナの
新たなオフィス空間

New Office Style



3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

New Office Style

カフェのようについ立ち寄りたくなる ポストコロナの新たなオフィス空間を実現

木のぬくもりに包まれるゆとりの空間

都内のとあるオフィスでは社員の働き方の多様化に合わせ、2022年12月に執務エリアの改修が行われた。

今回の改修では、エリアごとの構成に変化をつけることで空間を分けながらも、オフィス全体の統一感が保たれるよう素材感や色味のバランスに工夫が凝らされた。またバイオフィリックデザインの視点から緑視率や木視率を考慮し、木目のダイノック™ フィルムが多く取り入れられている。従来のオフィスデザインにとらわれない「ABW-Activity Based Working」をテーマとした空間の演出に3M™ ダイノック™ フィルムが貢献している。



窓際に整然と並ぶ柱には明るい木目を採用し、どのエリアからも自然と視界に入るように設計された。バイオフィリアの観点からも、特に質感の優れたPWシリーズを採用し、木視率を上げることでリラックス効果や生産性の向上を目指した。
(上画像：PW-2305MT使用)



3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

New Office Style

執務エリアの中心部に置かれた大きなカウンターテーブルの側面には、3M™ ダイノック™ フィルム PW-2308MTを採用。オフィス中心部に位置する大きなテーブルは、社員の目や手に最も触れやすい場所であるため、質感や手触り、色味にもこだわってPW-MTシリーズが使用されている。

一方でメンテナンス性が重視されるテーブルの内側面には、特に傷に強いARシリーズ (キズ防止フィルム) を採用し、PW-2308MTと近似柄のFW-1022ARを使うことでカウンターテーブル全体のトーンをそろえつつ、傷付き防止の機能が付加されている。



テーブルの外側には上質な質感にこだわったPW-2308MTを使用し、内側には傷つき防止機能をもったFW-1022ARを使用した。1,000種を超える色柄をもつ3M™ ダイノック™ フィルムは、インテリア全体のトーンをそろえつつ、機能による使い分けを可能にする。

3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

New Office Style

明るい木目で柱の木目とトーンを揃えつつ、執務スペースの収納キャビネットのカバーや、植栽のベースカウンター兼収納棚など台車や革靴などによって傷が付きやすい場所にはメンテナンス性に特に優れた AR シリーズを採用。



写真は上下とも FW-1129AR を使用

3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

New Office Style

柱には明るい木目を採用し、どのエリアからも自然と視界に入るように設計されている。

バイオフィリアの視点を取り入れ、質感の特に優れたPWシリーズを用いて木視率を上げることでリラックス効果や生産性の向上を目指す。
(下：PW-2305MT)

フロアの一角には、洗い出しのコンクリート柄を採用。明るい木目の柱やカラフルな家具と相性の良いAE-2162MTは、遠くから見ると空間に馴染みやすいグレーの背景になるが、近づくコンクリートの小石やセメントの細かな質感がはっきり感じられ、様々なシーンで使いやすいデザインとなっている。(右：AE-2162MT)



3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024

New Office Style

空間の連続性とプライバシーの確保を実現したガラスデザイン

すべてガラスで仕切られた空間を元の部屋の用途変更も含めて改修するのに役立ったのが3M™ ファサラ™ ガラスフィルムだ。

エリア各所にある既存の会議室は、改修後もそのまま会議室として使用される部屋と、新たに倉庫やロッカールームとして使用する部屋に分かれ、前者には空間の連続性とプライバシーが確保できるグラデーションデザインを、後者には室内を目隠しながら光だけを通すデザインが採用された。



(使用品番：SH2FGOV)



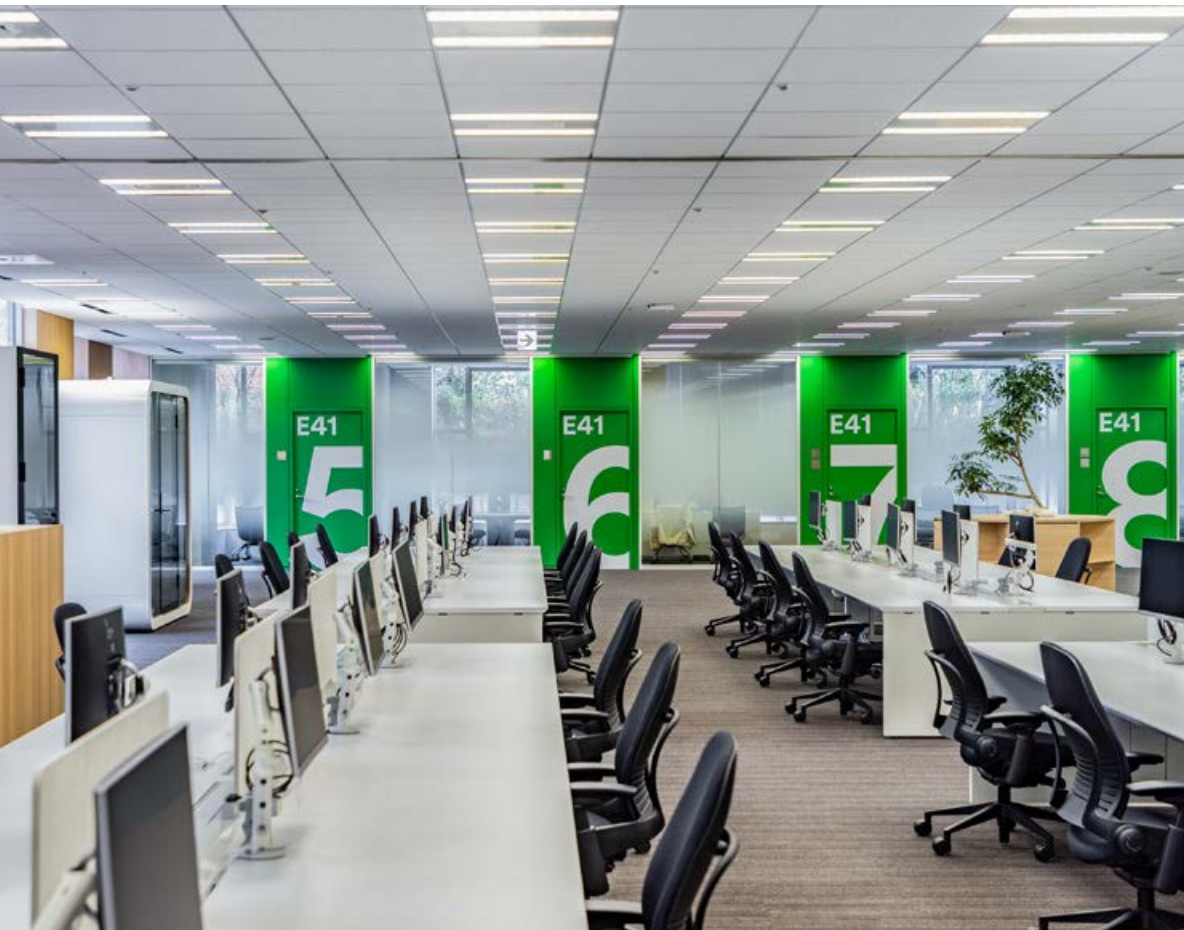
上：改修前の執務エリアは四方を会議室に囲まれたスペースであったため、閉鎖感が出ないようフロスト調の質感のフィルムを使用。適度な透明感と光の透過性を確保しつつ、足元と天井付近が透明なセンターグラデーションデザインは、空間の広がりを損なうことなく、しっかりと室内のプライバシーを確保してくれる。

(使用品番：FW-1129、SH2FGMI-W、SH2FGMI-PR)

右：倉庫として使われるようになった旧会議室には、目隠しの役割を果たしながらも室内に光を取り入れてくれるテラゾー調のデザインが採用された。

(使用品番：SH2FGTZ)





「奥に並んだ会議室の目隠しには、
ドア部分の大きなグラフィックに合わせ
グラデーション幅の大きなガラスフィルムを採用することで、
連続する会議室のスケール感を統一しました。」

デザイン担当

3M™ DI-NOC™ Architectural Finishes

Case Study 2024
New Office Style

CASE STUDY SUMMARY

[3M™ ダイノック™ フィルム]

Challenge :

上質な木のぬくもりが感じられる内装デザインと優れたメンテナンス性を実現したい。

Benefits :

リアルな質感や色味にこだわったダイノック™ フィルム PWシリーズと、傷つき防止機能をもつ3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズの近似柄を組み合わせることで、空間全体の統一感を損なうことなくメンテナンス性を高めることができた。

[3M™ ファサラ™ ガラスフィルム]

Challenge :

室内のプライバシーを確保すると同時に、開放感のあるオフィス空間を演出したい。

Benefits :

グラデーションの幅や柄、パターンの異なるガラスフィルムを使い分けることで空間の広がりや損なうことなくプライバシーを保護することができた。

Product Selection :

3M™ ダイノック™ フィルム ARシリーズ

3M™ ダイノック™ フィルム PWシリーズ

3M™ ファサラ™ ガラスフィルム



3M、DI-NOC、ダイノック、ファサラは、3M社の商標です。



スリーエム ジャパン株式会社
<http://go.3m.com/dinoc/>

© 3M 2024. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 0570-012-123

9:00~17:00 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)